QSS-32シリーズ Ver. 8.02 QSS-32SDシリーズ Ver. 4.03 新機能の説明

(1) 17インチ液晶モニター(オプション)に対応しました。

(2) QSS-Kids専用のUSB操作キーボード(オプション)に対応しました。

QSS-KidsでUSB操作キーボードを使用する場合は、QSS-Kidsの「機能・オプション登録」画面で「USBキーボード」を選択します。 <u>設定画面表示方法</u> 「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能・オプション登録」

・F」> · メニュー」> · 拡張メニュー」> · 機能・オノンヨノ豆球」

<u>参考</u> 従来の「キーボード拡張キット(PS2ケーブルで接続するタイプ)」も引き続き使用できます。

(3) 記憶メディアから画像を読み込んだ場合も、「ジャッジ画面」でプリント枠を移動できるようにしました。

「微調整」ボタンを使ってプリントサイズごとにプリント枠を調節できます。

「1コマ拡大表示」画面を表示させ、その画面でYES:OKをクリックした場合、「微調整」ボタンは無効になり、選択されているプリントサイズのプリ ント枠を調節することができません。



参考

「微調整」ボタンは、読み込んだ画像の大きさによっては上下矢印ボタン(🕈) で表示されます。

(4)「ジャッジ」画面から「シーン別補正」画面を直接起動できるようにアイコンを追加しました。



参考

「シーン別補正」機能を使用するには、「シーン別補正ソフト(オプション)」が必要です。

(5)「トーンカーブ補正」画面に画像の中間色を補正する機能を追加しました。

<u>画面表示方法</u> 「ジャッジ画面」>「1コマ拡大表示」画面>「トーンカープ補正」

スライダーを移動させると、その画像の中間色が補正されます。 よって、スライダーを左に移動すると、画像の中間色が薄くなります。 スライダーを右に移動すると、画像の中間色が濃くなります。



<u>参考</u>

「トーンカーブ補正」機能を使用するには、「トーンカーブ補正ソフト(オプション)」が必要です。

(6)「ジャッジ画面」で「HOLD」キーやコピー機能を使用する場合、色/濃度の補正やプリントサイズなど「ジャッジ画面」で設定した値を全画像に適用するか、選 択画像以降の画像に適用するかを選択できるようにしました。

「機能選択」の「ジャッジ動作」タブの「HOLD/コピー機能の処理対象」にて適用方法を選択できます。 設定の詳細は以下の通りです。

設定画面表示方法

「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」	>「ジャッジ動作」タブ
豆ごみ・ほこり検出	
すべての画像	HOLD/コビー機能の処理対象
すべての画像	

選択項目	内容
すべての画像	「ジャッジ画面」に表示されている画像すべてと、それ以降のすべての画像 に補正などの設定が適用されます。
選択画像以降	「ジャッジ画面」で選択している画像以降のすべての画像に補正などの設定 が適用されます。



(7)「機能選択」画面に「ショートカットキー」タブを追加しました。そのタブ内で、画面表示とYMCD調整、プリント枠調整用にショートカットキーを割り当てる ことができます。

設定画面表示方法 「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「ショートカットキー」タブ **探並選択 画面書号[2000-00] Nortsu-eNT 接股中** フロント インデックス | べた焼き | 印字内容 | プロセサー | アーカイブ | レンズ収差補正 | オーダーコントローラー ショートカットキー | ・ 操作丰一 [CTRL]+[M] ● 1コマ拡大表示 [CTRL]+[D] ● DSA [CTRL]+[T] ・ トーンカーブ補正 [CTRL]+[A] ・ スポット補正 [CTRL]+[D] ・ DSA [CTRL]+[S] ・ シーン別焼正 [CTRL]+[C] ・ カラー変換 [CTRL]+[C] ・ プリントサイズ変更 [CTRL]+[8] ・ソフトフィルター |ICTRL]+(E) ・ ケロスフィルター |[CTRL]+(J) -・ カラー交換(カラー) [CTRL]+(K] ■ カラー変換(モノクロ) [CTRL]+[L] ▼ カラー変換化ビア) [CTRL]+[2] ▼ ズーム率 [CTRL]+[2] ▼ 高像回転 YMOD'F-微調整中 [] ▼[-1] [2 ▼[-2] [3 ▼[-3] [4] ▼[-4] [5] ▼[-5] [(CTRL)+(←) ▼左/下 [CTRL]+[→] •右/上 [0] • [+1] [3] • [+2] [8] • [+3] [7] • [+4] [6] • [+5] エクスポート インポート YESOK NO:キャンセル

設定詳細

「ジャッジ画面」や「エディット」画面で画像を編集する際に、ショートカットキーを使って以下の画面を表示と補正、操作ができます。

	項目		割り当て可能なキー	
	1コマ拡大表示	ソフトフィルター		
面面	DSA	クロスフィルター		
ЩЩ	シーン別補正	トーンカーブ補正		
	カラー変換	スポット補正	「Ctrl」+「A」~「Z」	
	プリントサイズ変更	画像回転		
揭作	ズーム率	カラー変換(カラー)		
]¥1F	カラー変換(モノクロ)	カラー変換(セピア)		
	微調整キー 左/下	微調整キー右/上	「Ctrl」+矢印キー	
	-1	+1		
	-2	+2		
YMCD補正	-3	+3	۲0ı ~ ۲9ı	
	-4	+4		
	-5	+5		

設定されたショートカットキーの情報を「ショートカットキー」タブ内の「エクスポート」ボタンで書き込み、「インポート」ボタンで読み込むことが できます。保存されるファイル名は"ShortCutKey.ini"です。ファイル名は変更できます。

書き込んだ設定情報を他のQSSに読み込んで設定を合わすことができますが、情報を読み込む機種やバージョンが対応していない項目は表示されません。また、設定情報を読み込む機種にスポット補正ソフトなどオプションソフトがインストールされていない場合や、読み込む設定情報に項目の情報がない場合は「---」と表示されます。

(8)「1コマ拡大表示」画面に「プリント」ボタンを追加しました。

1回のスキャニング、またはデータの読み込みで、1つの画像から複数種類のプリントが可能になります。

使い方

「ジャッジ画面」や「1コマ拡大表示」画面でプリントサイズや色、濃度などを変更し、「プリント」ボタンをクリックしてください。 この作業を繰り返すことで、1つの画像から複数種類のプリントを作成できます。

<u>例えば・・・</u>

・プリントチャンネルでC/P/Hに異なるサイズを設定している場合、1回のスキャニングまたはデータの読み込みで、C、P、Hごとにプリントを出力できます。 ・色や濃度、トリミングなどの補正条件が異なるプリントを1回のスキャニング、またはデータの読み込みで出力できます。



(9) スキャナーセットアップのパラメータ(ネガ)モードの「パラメータ1」画面に「オートシャープネス2」機能を追加しました。

画像上の人物の顔の有無や大きさを検出して、その画像に合ったシャープネスの程度を自動で調節します。 この機能は、デジタル画像にも有効です。

<u>設定画面表示方法</u> 「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「セットアップ」>「スキャナーセットアップ」>「パラメータ(ネガ)」>「パラメータ1」

オーバースキップ率	0 📫
カブリ濃度スキップ率	0
カブリ面積スキップ率	0
バノラマ判定率	0
スキャナーカラー補正の切り替え(ネガ)	標準
スキャナー階調補正の切り替え(120以外のネガ)	ON 💌
スキャナー階調補正の切り替え(120ネガ)	OFF 🔽
基本濃度補正の切り替え	1
オートシャープネス2	0

選択項目	内容
1	画像上の人物の顔の有無や大きさを検出して、その画像に合ったシャープネスの効き具合 を自動で調整します。 補正をする場合は、顔の輪郭部分のシャープネスの効きを和らげます。
0	この機能は働きません。

の色空間からsRGBの色空間に変換し処理します。

(10) プロファイルが埋め込まれた画像データを入力した場合、そのプロファイルを使用して処理を行う機能に対応しました。

画像データ内に埋め込みプロファイルが存在しても、そのプロファイルを使用せずに、sRGB

設定画面表示方法 < r 🗸

OFF

F,>	<u>■ (1997)</u> >「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「補正」タブ □ 測光記音機能	
	OFF 埋め込みブロファイル設定	
		digital
選択項	目	
ON	画像データ内の埋め込みプロファイルを使用します。 QSSはsRGBの色空間で画像を処理しています。ONに設定した場合、埋め込みプロファイル	-



注意:画像はあくまでもサンプルですので、実際のプリントやデータとは異なることがあります。

(11) KODAK Picture CD の書き込み可能な最大容量を設定できるようしました。

<u>設定画面表示方法</u> 「F」>「メニュー」>「拡張メニュー」>「機能選択」>「ビューア」タブ

130104	Picture CD用のラボID	
Picture CDのVolume		
Volume6以降	×	
Picture CD用リテイラID		

参考

KODAK Picture CDのバージョンにより、CDの空き容量が異なりますので確認して設定してください。 KODAK Picture CDを作成するには「KODAK Picture CD作成ソフト(オプション)」が必要です。

(12)ペーパー幅が127mm以上のペーパーで、長尺プリント(最大送り長さ:914.0mm)が可能になりました。

(13) 終業点検時にバックアップデータを自動採取できるようにしました。

終業点検でFDにバックアップデータを保存しない場合でも、終業点検終了後に自動でHDDにデータを保存します。

バックアップデータ保存先:C:¥NKData¥BkData